

さいたま市立大宮八幡中学校

〔学校教育目標〕心豊かでたくましい、

広い世界に生きる人間の育成

学校だより **きゃら**

「大宮八幡中学校の樹」

第5号

令和8年8月26日 発行



さいたま市見沼区大字南中丸357

TEL 048-687-8800

FAX 048-687-9301

交流

校長 下館 文雄

39日間の夏休みも始まってしまえばあっという間、勉強や部活動を頑張った人や家族と過ごす時間を大切にしたり人など、どんな夏休みを過ごしたのでしょうか。久しぶりの登校で緊張している生徒もいるかと思いますが、気持ち良いあいさつを交わし、あせらず自分のペースで学校生活に慣れてほしいと思います。

さて、さいたま市と姉妹都市関係にあるニュージーランド・ハミルトン市をさいたま市の代表生徒68名が訪問しました。私も団長としてこの国際交流事業に参加しました。

ニュージーランドは、日本とは季節が反対で冬でした。現地の学校生活や家庭での交流を通して、参加した生徒たちは日本とは異なる文化や生活習慣を肌で感じる貴重な経験をしました。特に印象に残ったのは、ニュージーランドの生徒たちのコミュニケーション力です。自分の考えや気持ちを積極的に伝え、初対面でも自然に会話を楽しむ姿に大きな刺激を受けました。

今回の交流は、英語を学ぶだけでなく、異なる文化や価値観を知り、自分自身を見つめ直す機会になったことと思います。この経験をこれからの学校生活や将来の学びに生かし、世界に目を向けて、互いの違いを認めながらつながることのできる人へと成長してほしいと願っています。

9月1日は「防災の日」です。今年の夏、私たちは、災害が決して遠い地域の出来事ではないことを改めて感じる出来事がありました。

7月28日には熊本県で大きな地震が発生し、最大震度7を観測しました。多くの方が被害を受け、現在も復旧・復興に向けた取り組みが続いています。

また、8月には千葉県で豪雨による災害が発生し、私たちの住むさいたま市でも短時間のうちに災害の危険性が急激に高まる状況となり、避難や情報収集の大切さが改めて示されました。

そして、夏休み終盤の8月23日未明には、茨城県南部を震源とする地震が発生し、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都で最大震度5弱を観測しました。私たちが生活する関東地方で、いつ大きな揺れに見舞われるかわかりません。

「災害は、いつ起きてもおかしくない」という意識をもつことが防災の第一歩です。一人ひとりが防災について考え、日頃から備えておくことが、いざというときの命を守ることに繋がります。



【ニュージーランドで交流した学校】